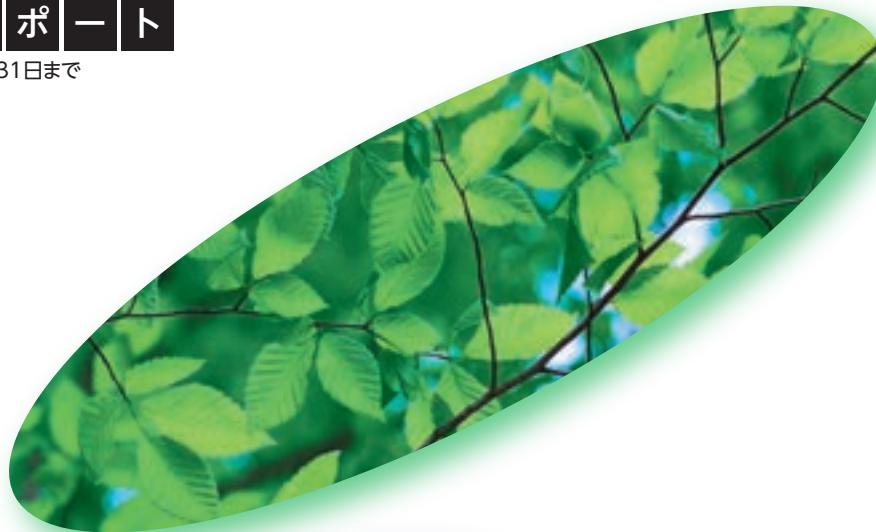


第 90 期 事業レポ ー ト

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで



福 田 組 か ら 株 主 の 皆 様 へ



株式会社 **福田組**

証券コード:1899



代表取締役会長

福田 勝之



代表取締役社長

太田 豊彦

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成28年12月31日をもって、第90期事業年度を終了いたしましたので、ここに当事業年度の概況をご報告申し上げます。

当社グループは「人と自然、社会と共存できる環境づくり」を基本理念として、またフクダグループスピリット「100年先も誠実」を掲げ、当社グループの総力を結集し、誠実を貫き、大切な人々たちとの強いきずなをつくりあげ、そのいのちと暮らしを守りつづけます。また、当社は「挑戦する企業体質のもと、人間と環境を大切にし、感動的価値の創造を目指す」ことを経営理念に掲げ、顧客・株主・取引先・地域社会・従業員など、すべてのステークホルダーの満足を第一とし、全社一丸となって取り組んでおります。

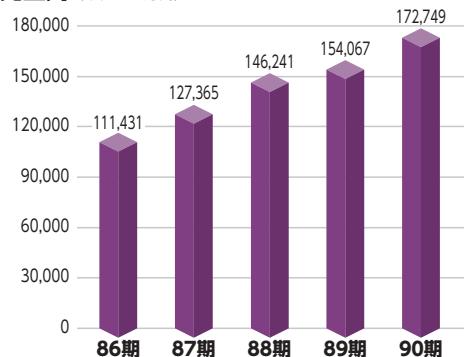
当事業年度の業績は後記のとおりであります。今日のグローバルな社会では、想定外のリスクを孕んでおりますが、企業価値の向上と健全なグループ経営基盤の維持を図り、今後とも株主の皆様のご期待に沿えるようグループ一丸となって邁進する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引続き変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

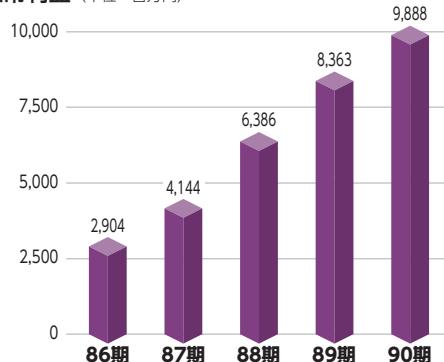
平成29年3月

経 営 成 績

連結売上高 (単位：百万円)



連結経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



当事業年度の市場環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安や株高により輸出関連産業が景気を牽引し、緩やかながら持ち直しの基調を維持しました。一方、個人消費では、人手不足を背景に雇用所得環境は良化しているものの、消費マインドの低迷が続いており、力強さを欠く結果となりました。

建設業界におきましては、公共建設投資については政府の経済対策、補正予算などにより景気押し効果が期待されますが、建設労働者不足から進捗の遅れが懸念されます。民間建設投資については、東京オリンピック関連やインバウンド向けなどの投資案件により、堅調に推移すると思われませんが、製造業分野では維持更新が中心で、新規の設備投資は、伸び悩みを見せております。

当事業年度の連結事業概況

このような情勢のもと、当社グループは昨年2月に公表した長期ビジョン、中期経営計画達成に向け、諸施策を着実に実行しており、有する経営資源を効率的に利用し最大限の効果が発揮されるよう、一層のグループ連携を強化することに努めております。その結果、当期の連結業績は次のとおりとなりました。

売上高は、前期繰越高及び当期受注高の増加、並びに手持工事の進捗状況も順調だったことから、前年同期比12.1%増の1,727億円余となりました。利益面におきましても、建設事業の受注環境良化に加え、工事採算性の向上、施工高増加に伴う固定費負担が改善したことなどが影響して、売上総利益は前年同期比14.8%増の198億円余となり、人件費の上昇等で一般管理費は増加したものの、営業利益は前年同期比18.7%増の96億円余となりました。一方、前年計上していた関連会社株式の段階取得に係る差益がなくなったことや減損損失の発生、並びに課税所得の増加や繰越欠損金の控除限度額の引下げにより法人税等が大幅に増加したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比1.1%減の84億円余となりました。

次期の見通し

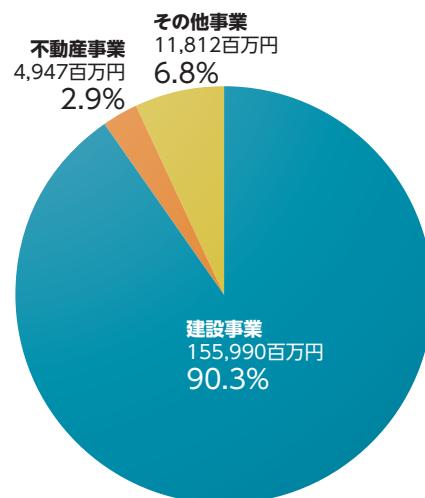
今後のわが国経済は、政府の経済対策が一巡し、プラス成長を維持するため次なる対策が講じられるものと思われれます。ただし、米国新政権のドル安への誘導など、政策の方向によっては、日本国内の輸出産業や製造業の業績に大きく影響することから、不透明感が増しており、企業設備投資は、しばらくの間、抑制的に推移するものと予想されます。

建設業界におきましては、非製造業の建設投資や経済対策による公共投資が牽引し、受注環境は堅調に推移するものと予測されますが、首都圏への資材・労務の需要集中から、建設コストの高騰も懸念されます。

これらの情勢を勘案して、通期（平成29年12月期）の連結業績につきましては、売上高1,700億円、営業利益71億円、経常利益71億円、親会社株主に帰属する当期純利益45億円を見込んでおります。

また、当社単体の次期業績につきましては、受注高は1,150億円、売上高1,100億円、営業利益50億円、経常利益53億円、当期純利益35億円を見込んでおります。

連結事業別売上高構成比



Completed Wo

当 事 業 年 度 の
主 な 完 成 工 事

建築



新潟県 様
新潟商業高校校舎棟建築工事（新潟県）



芙蓉総合リース株式会社 様
（仮称）中村区亀島二丁目プロジェクト（愛知県）



イオンタウン株式会社 様
（仮称）イオンタウンユーカリが丘（西街区）及び道路上空通路新築工事（千葉県）



サンヨーホームズ株式会社 様
（仮称）城東区野江1丁目集合住宅計画新築工事（大阪府）



株式会社共立エステート 様
（仮称）鳴子天神ホテル改修工事（宮城県）



あなぶぎ興産九州株式会社 様
（仮称）アルファフレシアク留米駅前新築工事（福岡県）

■土木



新潟県 様

瀬波海岸26年災害海岸災害復旧(3号堤)工事(新潟県)



東京都 様

平成27年度豊洲六丁目水際緑地整備工事(8街区)その1(東京都)



国土交通省 中国地方整備局 様

鳥取西道路気高鹿野トンネル工事(鳥取県)



新潟県 様

一般国道289号燕北バイパス(仮称)朝日大橋上部工工事(新潟県)



国土交通省 中部地方整備局 様

平成27年度 揖斐川白鷺上流川表高潮堤防補強工事(三重県)



国土交通省 九州地方整備局 様

山ノ井(下流)排水機場吐出樋管応急対策工事(福岡県)

当事業年度の主な受注工事および完成工事

受注工事

- 大和ハウス工業株式会社様
(仮称) 八王子高尾ショッピングセンター計画新築工事
- 東京都様
有明アリーナ(仮称)(27)新築工事
- 株式会社日立製作所様
木更津 土木造成工事
- 公益財団法人 新潟県環境保全事業団様
鹿処建第1号 エコパークいずもぎ第3期最終処分場土木施設建設工事

完成工事

- イオンタウン株式会社様
(仮称) イオンタウンユーカリが丘(西街区)及び道路上空通路新築工事
- 医療法人 立川メディカルセンター様
立川総合病院移転計画新築工事
- 株式会社共立エステート様
(仮称) 鳴子天神ホテル改修工事
- 国土交通省 中国地方整備局様
鳥取西道路気高鹿野トンネル工事

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円
百万円未満切捨)

科目	90期 (H28.12.31現在)	89期 (H27.12.31現在)
●資産の部		
流動資産	86,706	78,957
固定資産	32,881	31,693
有形固定資産	24,370	22,677
無形固定資産	1,416	1,660
投資その他の資産	7,093	7,354
資産合計	119,588	110,651
●負債の部		
流動負債	57,323	56,400
固定負債	7,416	7,260
負債合計	64,740	63,661
●純資産の部		
株主資本	53,403	45,551
資本金	5,158	5,158
資本剰余金	6,132	6,048
利益剰余金	42,381	34,527
自己株式	△ 269	△ 183
その他の包括利益累計額	883	927
その他有価証券評価差額金	1,165	1,227
土地再評価差額金	22	△ 46
退職給付に係る調整累計額	△ 304	△ 253
非支配株主持分	560	511
純資産合計	54,848	46,990
負債・純資産合計	119,588	110,651

連結損益計算書

(単位：百万円
百万円未満切捨)

科目	90期 (H28.1.1~12.31)	89期 (H27.1.1~12.31)
売上高	172,749	154,067
売上原価	152,930	136,799
売上総利益	19,819	17,268
販売費及び一般管理費	10,124	9,101
営業利益	9,695	8,166
営業外収益	375	441
営業外費用	182	244
経常利益	9,888	8,363
特別利益	120	813
特別損失	447	124
税金等調整前当期純利益	9,560	9,053
法人税、住民税及び事業税	1,255	792
法人税等調整額	△ 248	△ 353
当期純利益	8,553	8,614
非支配株主に帰属する当期純利益	70	40
親会社株主に帰属する当期純利益	8,482	8,573

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円
百万円未満切捨)

科目	90期 (H28.1.1~12.31)	89期 (H27.1.1~12.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,962	16,978
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,160	△ 1,723
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,339	△ 4,642
現金及び現金同等物の増減額	△ 6,536	10,613
現金及び現金同等物の期首残高	24,198	13,585
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 123	—
現金及び現金同等物の期末残高	17,538	24,198

連結株主資本等変動計算書 (H28.1.1~12.31)

(単位：百万円
百万円未満切捨)

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
平成28年1月1日残高	5,158	6,048	34,527	△ 183	45,551	1,227	△ 46	△ 253	927	511	46,990
当連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 536		△ 536						△ 536
親会社株主に帰属する当期純利益			8,482		8,482						8,482
自己株式の取得				△ 142	△ 142						△ 142
自己株式の処分		84		55	140						140
連結範囲の変動			△ 70		△ 70						△ 70
土地再評価差額金の取崩			△ 22		△ 22						△ 22
株主資本以外の項目の当連結会計年度中の変動額 (純額)						△ 61	69	△ 50	△ 43	49	5
当連結会計年度中の変動額合計	—	84	7,854	△ 86	7,852	△ 61	69	△ 50	△ 43	49	7,857
平成28年12月31日残高	5,158	6,132	42,381	△ 269	53,403	1,165	22	△ 304	883	560	54,848

貸借対照表

(単位：百万円
百万円未満切捨)

科目	90期 (H28.12.31現在)	89期 (H27.12.31現在)
●資産の部		
流動資産	57,636	51,394
固定資産	16,680	16,745
有形固定資産	8,140	7,803
無形固定資産	81	85
投資その他の資産	8,458	8,856
資産合計	74,317	68,140
●負債の部		
流動負債	39,223	38,584
固定負債	2,259	2,711
負債合計	41,482	41,295
●純資産の部		
株主資本	31,296	25,290
資本金	5,158	5,158
資本剰余金	6,132	6,048
利益剰余金	20,274	14,266
自己株式	△ 269	△ 183
評価・換算差額等	1,538	1,554
その他有価証券評価差額金	845	896
土地再評価差額金	692	658
純資産合計	32,835	26,844
負債・純資産合計	74,317	68,140

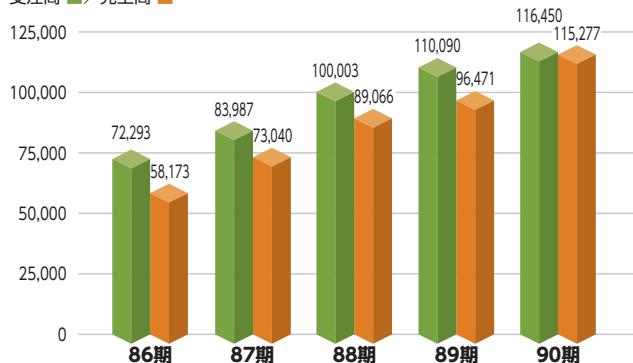
損益計算書

(単位：百万円
百万円未満切捨)

科目	90期 (H28.1.1~12.31)	89期 (H27.1.1~12.31)
売上高	115,277	96,471
完成工事高	112,018	92,556
不動産事業売上高	3,259	3,915
売上原価	104,068	86,982
完成工事原価	102,347	84,584
不動産事業売上原価	1,721	2,398
売上総利益	11,209	9,488
完成工事総利益	9,671	7,971
不動産事業総利益	1,538	1,517
販売費及び一般管理費	4,428	4,087
営業利益	6,780	5,401
営業外収益	539	624
営業外費用	87	162
経常利益	7,232	5,863
特別利益	103	288
特別損失	560	156
税引前当期純利益	6,775	5,996
法人税、住民税及び事業税	420	△ 112
法人税等調整額	△ 196	△ 337
当期純利益	6,551	6,446

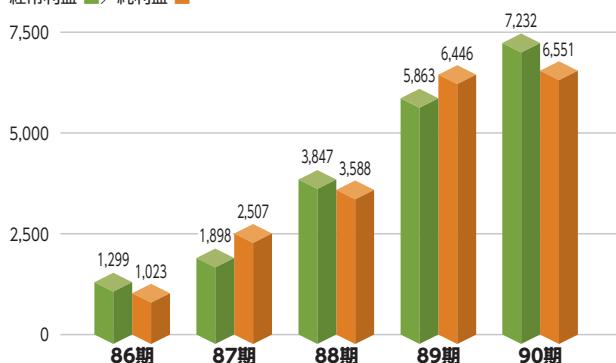
受注高/売上高 (単位：百万円)

受注高 ■ / 売上高 ■



経常利益/純利益 (単位：百万円)

経常利益 ■ / 純利益 ■



当社は昨年、グループの将来ビジョンとして「長期ビジョン2025」を策定し、これに基づき「中期経営計画2018」を設定いたしております。

これらは、急激な業績拡大を目指すものではなく、環境変化に対応出来る強固な経営基盤を築き、安定的な成長を持続するためのプランであります。計画達成に向けて、今後一層の増大が予想される維持更新・リニューアル事業の対応強化を図り、グループ総合力をもってお客様のニーズに応えていくことが重要であります。そのために既存事業分野において現場力を向上させ、良いものをつくるという原点に立ち返り実践することでお客様の信頼を獲得してまいります。

当社グループは将来へ向けてグループの経営資源を融合させ、新たな収益基盤の確保と多様化を実現してまいります。そのために最も重要な資源である人材を育て、当社グループ全体を進化させ、使命を果たしてまいりる所存であります。

また、昨年、当社グループの福田道路(株)が独占禁止法違反により、公正取引委員会から排除措置命令を受けました。関係される皆様には、多大なご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。今後、コンプライアンス体制を一層強化し、信頼の回復に努めてまいります。

以上の課題をまとめたものとして、以下に平成29年度の重点方針5つの柱を掲げております。すでに実施している施策をより一層強化し、さらに強固な経営基盤の構築を進めるべく、一つ一つ愚直に実行してまいりる所存であります。

【平成29年度 重点方針5つの柱】

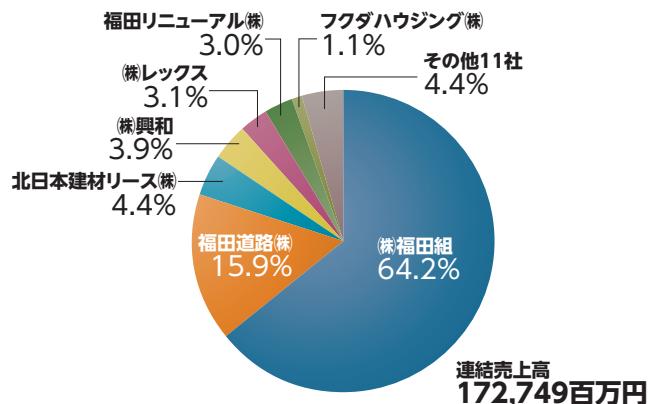
- ① 安定的な収益基盤の強化
- ② 将来の企業価値の強化
- ③ 人材教育の強化
- ④ 安全管理体制の強化
- ⑤ 信頼関係構築の強化



株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■企業集団の状況

当社の企業集団は、当社、子会社29社、関連会社5社で構成され、建設事業、不動産事業を主な事業としており、その他事業として建設以外のサービスも展開しております。



建設事業

当社が建設工事の受注、施工を行うほか、子会社の福田道路(株)他22社、関連会社の(株)高建他4社が建設工事の受注や施工、並びに建設工事関連資機材の賃貸や製造販売等を行っており、その一部は当社が発注しております。

不動産事業

当社が不動産の売買、賃貸及び開発に関する事業を行っているほか、子会社の福田アセット&サービス(株)他5社、関連会社の(株)高建が不動産事業を行っております。

その他事業

子会社の福田道路(株)他5社は建設工事関連以外の製品の賃貸や製造販売等を行っており、当社はそれらの会社から仕入や賃借を行っております。また子会社の(株)デザイン工房は、福祉施設を経営しております。

北日本建材リース株式会社

<http://www.kkl.co.jp/>

- 本社：新潟県新潟市北区太郎代1572番地9 電話025-255-3911
- 営業所：新潟・上越・長野・東北・福島・山形・盛岡・東京・北関東
- 海外駐在員事務所：ジャカルタ（インドネシア）
- 建設用仮設鋼材のレンタル及び販売等
（鋼矢板、敷鉄板、鋼製山留材、ガードくん（仮設ガードレール）、H形鋼、けたろう（仮橋）、パイオトイレ、大型水中ポンプ等）
仮設工事の設計、施工
（鋼矢板・H形鋼打抜、棧橋設置・撤去等）

当社は、建設工事に欠かすことのできない鋼矢板・敷鉄板・仮設棧橋等重仮設鋼材のレンタルをはじめ、仮設工事の設計から施工までを担う、いわば『建設関連のお客様を支えるトータルサポーター』として、創業から40年以上にわたり信頼と実績を積み重ねてまいりました。

また、当社の保有する「パイオトイレ」は、国土交通省より快適トイレとして認定され、建設現場のニーズに応えるだけでなく、人里離れた洗浄水が使用できない山中においてもその姿が見られるなど、環境衛生面での優位性は高く認知・評価されております。

今後、当社はこれまで培った経験・ノウハウを生かして、建設業界のサポーターとしてのさらなる高みを目指しながら、その活動の舞台を東南アジアまで広げるなど、たゆまぬ前進を続けてまいります。

当社オリジナル商品
仮設棧橋 けたろう



上・下水道設備を必要としない
パイオトイレ



当社保有のレンタル商品（写真は、山留材）

工事成績優秀企業認定の受賞

4年連続で国土交通省「工事成績優秀企業認定」を受賞



国土交通省北陸地方整備局より「平成28年度工事成績優秀企業」として認定及び表彰を受賞しました。この認定は、過去2カ年に完成した土木工事に関して、その工事成績が優秀な企業を選定し認定を行うもので、当社の施工・品質管理に対する技術力が高く評価され、4年連続での受賞となりました。

また、国土交通省北陸地方整備局長より「優良技術者表彰」(4年連続)もあわせて受賞しました。今回の認定・表彰を励みとし、今後もより一層地域の社会基盤づくりに貢献するよう邁進してまいります。



◀表彰は、平成27年度の工事成績が優秀であり、または困難を克服し、創意工夫に努めるなどの成果が顕著であった技術者に対して授与されるものです。

写真左：柿川放水路排水樋門新設工事

新潟本社新社屋竣工

変わらない信念を胸に 一番堀の地で新たに再出発

新社屋は、当社の社にあるように「誠実」と「創造性」をもった、流行に左右されない質実剛健、誠実さを表す建物を目指しました。災害時、より早い地域社会への貢献活動を使命とする私たち建設業。災害に強く、地球環境にも優しい、新技術を活用した建物となっています。

災害時には地域の皆さんの防災拠点として「ここまで逃げれば安心」な機能を兼ね備え、環境面では、地中熱と雨水利用など自然エネルギーを有効利用した省エネルギーな建物を実現。新潟市内では3例目となる「CASBEE新潟」5段階中最高ランクのSランクを取得しました。

フクダグループスピリット「100年先も誠実」のもと、育てていただいたこの地で気持ちも新たに挑戦し、建設を通じ社会に貢献してまいります。



1.災害に強い

- ・免震構造
- ・キュービクル、非常用発電機の高層設置(津波洪水対策)
- ・備蓄倉庫の設置
- ・5階多目的ホールは災害時防災センター機能を有する(WC、シャワー設置)
- ・災害時の避難場所として5階多目的ホール、屋上、4階会議室を提供



2.環境に優しい

- ・CASBEE新潟においてSランクの取得(最高クラス)
- ・屋上緑化+雨水利用排水システムの設置
- ・地中熱利用による空調設備、無散水融雪の設置
- ・Low-E複層ガラスの採用
- ・LED照明

3.技術の活用

- ・免震構造
- ・大スパンを実現するPC(プレストレストコンクリート)梁の採用
- ・SRC+アルミハニカムパネルによる大庇
- ・地中熱利用による空調設備、無散水融雪の設置

会社の概況

(平成28年12月31日現在)

創業 明治35年1月
 設立 昭和2年12月
 資本金 5,158,408,496円
 従業員数 851名
 連結子会社 17社 (福田道路(株)他)
 主要な事業所 ●本社
 新潟市中央区一番堀通町3番地10
 電話 025-266-9111 (大代表)
 ●本店・支店
 新潟本店 (新潟市中央区)、東京本店 (東京都千代田区)、東北支店 (仙台市青葉区)、名古屋支店 (名古屋市中区)、大阪支店 (大阪市北区)、九州支店 (福岡市博多区)、中越支店 (新潟県長岡市)、北海道支店 (札幌市中央区)
 ●営業所
 盛岡、千葉、横浜、村上、上越、広島ほか6営業所
 (注) 平成28年4月1日付で新発田営業所を開設しております。



役員

(平成29年3月28日現在)

代表取締役会長 執行役員会長	福田 勝之	上席執行役員	小池 国義
代表取締役社長 執行役員社長	太田 豊彦	上席執行役員	大塚 進一
代表取締役副社長 執行役員副社長	高坂 謙一	上席執行役員	高桑 正一
取締役 専務執行役員	石川 渡	執行役員	湯浅 次男
取締役 常務執行役員	荒明 正紀	執行役員	田宮 強志
取締役 執行役員	相馬 良一	執行役員	今野 和則
取締役 執行役員	増子 正弘	執行役員	岩崎 勝彦
取締役 執行役員	山本 武志	常勤監査役	八鍬 耕一
取締役	矢澤 健一	監査役	砂田 徹也
取締役	中田 義直	監査役	宮島 道明
常務執行役員	大岩 千尋		

注1. 取締役 矢澤健一、同 中田義直は、会社法第2条15号に定める社外取締役です。
 2. 監査役 砂田徹也、同 宮島道明は、会社法第2条16号に定める社外監査役です。

株式の状況

(平成28年12月31日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 (自己株式を除く) 44,630,862株
 株主数 5,564名

大株主	株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
(公財) 福田育英会		3,343	7.5
(株) 第四銀行		2,198	4.9
福田 直美		2,158	4.8
福田 フジ		1,633	3.7
小沢 和子		1,607	3.6

(注) 持株比率は自己株式 (309,695株) を控除して計算しております。

株 主 メ モ

●事業年度

1月1日から12月31日まで

●定時株主総会

3月

●基準日

定時株主総会 12月31日

期末配当金 12月31日

中間配当金 6月30日

●株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先・送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

TEL 0120-232-711 (通話料無料)

●単元株式数

1,000株

●上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部

●公告の方法

電子公告の方法により行います。

ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL <http://www.fkd.co.jp/>

【ご注意】

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。

なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

株 主 優 待 制 度

当社では、日頃の株主様のご支援に感謝申し上げるとともに、弊社株式を末永く保有していただくことを目的に、株主優待制度を導入しております。

①贈呈基準 12月31日現在、1,000株以上の株主様を対象に年1回実施

②優待内容 一律、クオカード5,000円分
※対象となる株主様に対して、一律とさせていただきます。

③贈呈時期 毎年3月下旬発送予定



URL <http://www.fkd.co.jp/>



本社／新潟市中央区一番堀通町3番地10
電話 025-266-9111 (大代表)